

OTA
アート・
プロジェクト

山崎バニラの 蒲田モダン

ことはじめ

蒲田の歴史は映画とともに！
大正後期から昭和にかけて、
モボ・モガが闊歩していた時代を
カッペンと共に紹介するキネマ企画



Vanilla
Yamazaki

2022年9月10日(土) 14:00開演(13:15開場)

[会場] 大田区産業プラザPiO コンベンションホール (大田区南蒲田1-20-20)

[チケット] 一般：2,500円 中学生以下：1,000円 ※全席指定 ※4歳以上入場可

[プログラム] 『蒲田モダンことはじめ』、『私のパパさんママが好き』、『母』

チケット予約発売日 ▶ 6月15日(水) 10:00～ ※ご予約についての詳細は中面をご覧ください

関連
企画

オンライントーク番組 『銀幕女優とモダンガール』

現代のモダンガールをゲストに招き、蒲田が流行最前線だった時代のファッション事情などについて語る配信番組です。

2022年7月17日(日) 19:00～20:00

[視聴方法] 「大田区文化振興協会YouTubeチャンネル」から
ライブ配信 (アーカイブ配信有り)



[出演] 山崎バニラ氏(活動写真弁士) 岡茂光氏(元「蒲田映画祭」プロデューサー)
[ゲスト] 浅井カヨ氏(日本モダンガール協会代表)



[ゲストご紹介]
浅井カヨ
あさい かよ

名古屋市生まれ。愛知県立芸術大学美術学部デザイン・工芸科デザイン専攻卒業。2007年に日本モダンガール協会を設立。催事企画、展示、執筆、講演等を行う。2016年晩秋、昭和初期の洋館付住宅を模した「小平新文化住宅」が完成する。著書に『モダンガールのスゝメ』(原書房)、共著に『東京府のマボロン』(社会評論社)がある。

[協力] 監修：蒲田モダン研究会 映像提供：株式会社マツダ映画社、片岡一郎、坂本頼光
※新型コロナウイルス感染防止策の詳細は、大田区文化振興協会ホームページをご確認ください。

ota_bunka otabunkaart 大田区文化振興協会 otabunkaart

公益財団法人 大田区文化振興協会 大田区 後援：一般社団法人 大田観光協会

OTA
アート・
プロジェクト
特別企画

映画「この世界の片隅に」 上映 & トークイベント

第40回日本アカデミー賞最優秀アニメーション作品賞を受賞し、またたく間にロングランヒットとなったアニメ映画の上映と、ゲストを招いたトークイベントを開催します。



©2019 こうの史代・コアミックス / 「この世界の片隅に」製作委員会

2022年9月24日(土) 午前の部 11:00開演(10:30開場)
午後の部 14:30開演(14:00開場)

[会場] 大田区民プラザ 大ホール (大田区下丸子3-1-3)

[チケット] 午前の部 一般：1,000円 / 高校生以下：500円 午後の部 2,000円

午前・午後セット 2,500円 ※全席指定 ※4歳以上入場可

午後の部のチケット提示で、「昭和のくらし博物館」(大田区南久が原2丁目26-19)の入館が無料で！公演当日は18:30まで開館を延長。徒歩圏内なので、この機会にぜひ足をお運びください。



[プログラム] 午前の部 映画「この世界の片隅に」上映

午後の部 トークイベント「映画の中にある“くらし”」

[ゲスト] 片瀨須直氏(アニメーション映画監督) / 小泉和子氏(「昭和のくらし博物館」館長)



チケット予約発売日 ▶ 7月13日(水) 10:00～ ※ご予約についての詳細は中面をご覧ください

[企画協力] NPO法人 昭和のくらし博物館

※新型コロナウイルス感染防止策の詳細は、大田区文化振興協会ホームページをご確認ください。

ota_bunka otabunkaart 大田区文化振興協会 otabunkaart

公益財団法人 大田区文化振興協会 大田区 後援：一般社団法人 大田観光協会



「OTA アートプロジェクト」は、大田区文化振興協会が、「アートでまちづくり」をテーマに大田区に点在するさまざまな文化芸術に関わるヒト・モノ・コトを資源として紹介し、未来に向けて新たに共創していくための創造プロジェクトです。2022年度は、蒲田に残る映画や音楽などの歴史的文化資源を、新たな付加価値と共に紹介する企画「蒲田★今昔物語」を実施します。



チケット発売日 6月15日(水)10:00~

1 山崎バニラの「蒲田モダンことはじめ」

2022年9月10日(土) 14:00開演(13:15開場)

【会場】大田区産業プラザPiO コンベンションホール (大田区南蒲田1-20-20)

【チケット】一般：2,500円 中学生以下：1,000円 ※全席指定 ※4歳以上入場可

プログラム

『蒲田モダンことはじめ』

脚本・イラスト・編集・音楽：山崎バニラ

大正9年(1920年)に「東洋のハリウッド」を目指し開設された松竹キネマ蒲田撮影所。「流行は蒲田から」と言われるほどの華やかさと活気にあふれた「蒲田モダン」の歴史をオリジナル動画でご紹介。

『私のパパさんママが好き』

制作年:1931年(昭和6年) / 監督:野村貞彦(野村浩将) / 出演:斎藤達雄、伊達里子、実貫小僧、高峰秀子

母親役の伊達里子はモダンガール代表として人気を博した。作中には池上線「御嶽山前駅」ホームや松竹蒲田作品のポスターのパロディも登場。公開当時は淡谷のり子の吹き込みで販売された主題歌を、今回は大正琴弾き語りでご覧に入れます。



『母』

制作年:1929年(昭和4年) / 監督:野村芳亭 / 出演:川田芳子、八雲恵美子、高峰秀子

蒲田女性映画の代表作。活動写真も歌舞伎の様にそれまで男性が女形をしていたが、主演の川田芳子は日本映画史上初の映画専門女優となった。夫を亡くし、二人の子供を懸命に育てる母親の物語。5歳の高峰秀子デビュー作。ピアノ弾き語り。



写真提供:マツダ映画社



山崎バニラ

Yamazaki Vanilla

PROFILE

宮城県白石市生まれ、東京都大田区育ち。活弁士(活動写真弁士)。2001年、無声映画シアターレストラン「東京キネマ倶楽部」座付き弁士としてデビュー。独特の声で大正琴とピアノを弾き語る独自の芸風を確立。2018年~東京国際映画祭ユース部門で活弁を披露。2019年公開、周防正行監督「カッパ」に出演。声優としてもアニメ「ドラえもん」ジャイ子役、Eテレ「天才てれびくんhello.」ひらり役他出演作多数。清泉女子大学のスペイン語学科卒業の経験を生かし、2021年度上半期NHKラジオ「まいにちスペイン語」でコーナーを担当。

チケット予約・購入のご案内

※発売初日14:00まではオンラインまたは、専用電話のみで受け付けます。
※大田区民ホール・アプリコは工事休館のため、電話・窓口共に17:00までの受け付けとなります。
※価格はすべて税込み表示です。

■ オンラインチケット(24時間対応) <https://www.ota-bunka.or.jp/>

■ チケット専用電話(10:00-19:00) 03-3750-1555

■ 発売初日14:00以降は下記3館でも電話予約・窓口販売いたします。(10:00-19:00)

【大田区民プラザ】 TEL 03-3750-1611
【大田区民ホール・アプリコ】 TEL 03-5744-1600
【大田文化の森】 TEL 03-3772-0700

※発売日から公演前日19:00まで座席をご予約いただけます。
※別途手数料がかかります。



チケット発売日 6月15日(水)10:00~

2 『こども映画教室®@おおた2022』 特別上映会+トークイベント

2022年9月11日(日) 14:00開演(13:15開場)

【会場】大田区産業プラザPiO コンベンションホール (大田区南蒲田1-20-20)

【チケット】一般：500円 中学生以下：入場無料(要チケット) ※全席指定 ※0歳以上入場可(席が必要な場合は要チケット)



プログラム

【企画】一般社団法人こども映画教室®

『メイキング映像上映』『こども作品上映』

- ① 赤チーム(下丸子)「きみとゆびきり」
- ② 青チーム(多摩川)「けいじとしげんかがかくしゃ ふぐのはりをさがせ」
- ③ 黄チーム(蒲田)「ゆうじょうの花」



トークイベント『こどもの映画作り』



【進行・聞き手】土肥悦子(どひ えつこ)
(有)シネモンド代表、
一般社団法人こども映画教室®
代表理事



【ゲスト】杉田協士(すぎた きょうし)

1977年、東京生まれ。映画監督。2011年に長編第1作「ひとつの歌」が東京国際映画祭に出品され、翌年に劇場デビュー。第2作「ひかりの歌」が2017年の東京国際映画祭、2018年の全州国際映画祭に出品され、全国各地での劇場公開を果たす。2021年に第3作「春原さんのうた」がマルセイユ国際映画祭でグランプリ・俳優賞・観客賞を受賞し、その後にサン・セバスティアン国際映画祭、ニューヨーク映画祭など世界の映画祭に選出され、2022年に劇場公開。こども映画教室には、2010年の金沢にて諏訪教彦監督のサポートを、そして2019年には特別講師として東京国際映画祭のTIFFティーンズ映画教室に参加している。



チケット発売日 7月13日(水)10:00~

3 映画「この世界の片隅に」 上映&トークイベント

2022年9月24日(土)

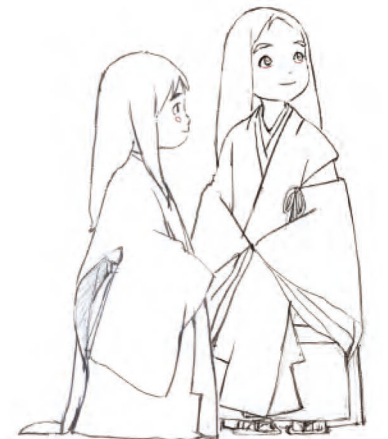
【午前の部】11:00~(10:30開場) 【午後の部】14:30~(14:00開場)

【会場】大田区民プラザ 大ホール (大田区下丸子3-1-3)

【チケット】【午前の部】一般1,000円/高校生以下500円 【午後の部】2,000円
【午前・午後セット】2,500円 ※全席指定 ※4歳以上入場可



【お知らせ】午後の部チケットには「昭和のくらし博物館」(大田区南久が原2丁目26-19)の入館料が含まれます。公演当日は18:30まで延長開館いたしますので、ぜひ足をお運びください!



©Kuroburue/Contrail,Inc

プログラム

【午前の部】映画「この世界の片隅に」上映 【午後の部】トークイベント「映画の中にある“くらし”」

映画「この世界の片隅に」を作るために、片瀬監督と浦谷監督補がたびたび同館に足を運び、当時の庶民のくらしを学ぶ講座に参加。この時の資料や体験が、物語のリアリティに活かされているとのこと。トークイベントでは、これらの話題に続き、待ち望まれる監督の次回作についても語られます。



【ゲスト】片瀬直直(かたべち すなお/アニメーション映画監督)
1960年生まれ。日本大学芸術学部特任教授。大学在学中に「名探偵ホームズ」の脚本を手がけてから、今年で41年目。監督作はTVシリーズ「名犬ラッシー」(96)、「BLACK LAGOON」(06)、長編「アリーテ姫」(00)、「マイマイ新子と千年の魔法」(09)など多数。「この世界の片隅に」(16)、「この世界の(さらにいくつもの)片隅に」(19)。現在、疫病の中に生きる千年前の人々を描く次回作を制作中。



【ゲスト】小泉和子(こいずみ かずこ/昭和のくらし博物館館長)
1933年東京都生まれ。女子美術大学で油絵を学んだ後、東京大学で日本家具室内意匠史を研究。生活史研究所を主宰し、古代から近代の生活史の研究の他、全国の重要文化財の家具・インテリアの復元及び展示や文化財活用にも携わる。1999年、実家を「昭和のくらし博物館」として公開(後に国登録有形文化財)。「くらしの昭和史」「和家具の世界」他著書・監修多数。記録映画「昭和の家事」制作。家具道具室内史学会会長。工学博士。